

平成25年度 自 己 評 価 表

鳥取県立青谷高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	社会人として通用する人材の育成	今年度の 重点目標	①生徒指導の充実:「時を守り、場を清め、礼を正す」「大きな声で校歌を歌う」 ②「確かな学力」の定着:基礎学力の定着＋キャリア教育の充実＋自信と誇りの育成 ③地域との連携を推進する
-------------------	-----------------	--------------	---

年 度 当 初					評 価 結 果 (3) 月		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
1. 生徒指導の充実:「時を守り、場を清め、礼を正す」「大きな声で校歌を歌う」	(時を守る) ・規則正しい生活習慣が身に付き、毎日を健康に送ることができている。 ・遅刻、欠席がなく、授業の始まる前には準備が整い、意欲を持って学習に臨んでいる。	・ほとんどの生徒が総合学科の特色を理解し、多様な選択科目を履修しながら自律的に行動することができている。 ・深夜までの起床による寝不足や、体調不良による遅刻、欠席を繰り返す生徒も一定数ある。	・健康や安全に対する意識が高く、食事や睡眠を大切にした規則正しい生活習慣のもとに学校生活を送ることができている。 ・早起きと栄養バランスの良い朝食をとる生活が定着している。 ・遅刻、欠席がなく、健康で意欲的に登校している。	・規則正しい生活と健康の大切さを啓発し、家庭との連携を深める。 ・授業の始まり終わりの挨拶を大切にし、より一層けじめのある授業展開を図る。 ・時間を守ることが社会での信用の第一歩であることを啓発する。	・朝の登校指導を実施。意図的に遅刻をする者がなくなったが、授業への遅刻、教材不備を繰り返す生徒が一部にある。 ・「体力づくりプロジェクト」を実施。食の大切さと生活リズムや学習成果への影響を生徒へ啓発。	C	・登校指導を年次と連携しながら、さらに充実、継続していく。 ・「体力づくりプロジェクト」の成果を生かしながら、食と健康に対する意識を高め、規則正しい生活習慣を定着させる。
	(場を清める) ・毎日の清掃活動を大切にし、気配りのある行動がとれている。 ・学校内が清潔に保たれ、整理・整頓が行き届いている。	・毎日の清掃活動は丁寧に行われているが、指示されたことだけに止まりがらである。 ・ゴミの分別が不十分であり、無造作にゴミが投げ捨てられていることがある。整理整頓も不十分。	・清掃活動や整理整頓が丁寧に行われている。 ・明るい笑顔で挨拶ができ、正しい言葉遣いと社会で通用するマナーが身に付き、制服も正しく着こなすことができている。 ・公私のわきまができ、集団や社会に対する貢献意欲が高く、周囲に対する配慮や思いやり、節度や謙虚さが身に付いている。 ・学校行事や全校集会で規律ある行動がとれ、校歌を大きな声で歌うことができる。 ・生徒会活動や委員会活動が活発であり、生徒個々の参加意識や貢献意欲が高い。	・毎日の清掃活動を大切にし、定まった作業に止まらず、細やかな気配りや気づきが生まれるようにする。 ・教室内、個人ロッカー周辺の整理整頓を啓発し、学習環境を清潔に保つ。	・朝清掃に変更。時間にけじめが付き、清掃が行き届くようになった。教室内の整理整頓はまだ不十分。 ・「掃除に学ぶ会」を実施。70名を超える生徒の参加があった。	C	・生活の時間と行動にけじめとメリハリを付けさせ、丁寧な清掃を心掛けるようにする。 ・学習の場にふさわしい、整理整頓が行き届いた環境を整えさせる。
	(礼を正す) ・明るい笑顔で気持ちの良い挨拶ができる。 ・丁寧な言葉遣いと制服の正しい着こなしが保たれている。	・校内の花壇に生徒のボランティアによって植栽された花が咲き、心和む雰囲気醸成されている。 ・しっかりと挨拶ができる生徒も多くいるが、学校全体としての積極的な挨拶は不十分。	・校内の花壇に生徒のボランティアによって植栽された花が咲き、心和む雰囲気が醸成されている。 ・しっかりと挨拶ができる生徒も多くいるが、学校全体としての積極的な挨拶は不十分。 ・生徒会活動や委員会活動が活発であり、生徒個々の参加意識や貢献意欲が高い。	・カード指導を含め毅然とした姿勢で指導するとともに、丁寧で粘り強い指導を継続する。 ・生徒にとって見守られ感と安心感を感じる指導に努める。	・服装頭髮指導の定期実施に加え重点指導期間を設けた。生徒の身だしなみに対する意識が向上。 ・カード指導による取組を粘り強く行い、服装や授業態度に対する落ち着きが改善された。	C	・カード指導を含めた、丁寧で毅然とした生活指導を、粘り強く続けていく。 ・社会に通用する力を身につけさせることを目的に、規律ある学校生活を徹底する。
	(大きな声で校歌を歌う) ・式典や学校行事で校歌を大きな声で歌うことができ、澁刺とした雰囲気全体に満ちている。	・社会人として通用する言葉遣いや正しい身だしなみが不十分。 ・式典等での整列に少し時間がかかり、校歌を大きな声で歌うことができていない。	・生活指導に対する保護者の理解が高く、連携した指導体制が整っている。	・式典の意義、式典に臨む態度やマナーを丁寧に指導するとともに、学校に対する帰属意識や誇りを醸成させる。 ・職員と生徒が一体となって行動する。	・式典のつど、式典の意義と式典に臨む態度やマナーを丁寧に指導。吹奏楽部の演奏により校歌を歌う環境を整えたが、全員が大きな声で校歌を歌うことはまだ不十分。	D	・校歌を歌う式典の回数が少ないため、全校集会を含め校歌を歌う場を増やす。 ・全校集会に対する意識や態度を高める指導をさらに徹底する。
2. 「確かな学力」の定着:基礎学力の定着＋キャリア教育の充実＋自信と誇りの育成	(基礎学力の定着) ・丁寧な学び直しが行われている。 ・学びに対する満足度が高く、真摯な態度で学習に臨んでいる。	・総合学科の特色として多くの科目選択と多くの進路選択の可能性がある反面、目標設定に迷い学力不振や学習意欲を減退させている生徒が一定数いる。	・丁寧な学び直しが行われ、学習に対する生徒の満足度が高く、真摯な態度で学習に取り組んでいる。 ・総合学科の特色を生かし、多くの可能性やチャンスの中から、将来の社会生活を見据えた進路目標を見定め、目標に向かって意欲的に努力を積み重ねている。	・丁寧な学び直しを行うとともに、生徒にとって学ぶ意欲を向上させる授業改善を進める。 ・意欲低下や悩みを抱える生徒には家庭との連携を深め、相互理解を図る。	・1年次の国語、数学、英語において教材を活用した学び直しを実施。学力の把握と高校の学習内容へのスムーズな移行に成果があった。	C	・1年次の国語、数学、英語の教科内での学び直しを継続する。 ・朝のSHRの時間を短時間学習に有効活用するとともに、2、3年次でも継続した学び直しを工夫する。
	(キャリア教育の充実) ・将来の社会生活や職業を見据えた科目選択と進路決定がなされている。 ・進路に係る教科外活動にも積極的に取り組んでいる。	・学力や学習評価の結果にとらわれて、学習に取り組む姿勢や将来の社会人として求められる姿勢が不十分な生徒がある。 ・目標設定の不十分さから学校生活に対する十分な自信が持てず、言葉遣いやマナー、服装にも不十分さが表れ、地域からも指摘を受けることがある。	・様々な価値観や進路目標を持つ生徒が、お互いの目標を認め合い、励まし、切磋琢磨する環境となっている。 ・進路目標の達成が100%となっている。 ・生徒が多くの可能性や自由度のある総合学科で自律的に、自己責任を発揮しながら学習することを実践し、高い満足と自信と誇りを保持している。	・1年次「産業社会と人間」、2年次「総合的な学習の時間」、3年次「課題研究」を中心に、各年次に応じたキャリア教育を充実させ、生徒自らのキャリアデザインの意識を高揚させる。 ・教科指導とキャリア教育の連携。	・卒業生や社会人による講演会を実施。進路やキャリア設計に対する意識の向上を図ることができた。 ・就職内定率はほぼ100%を達成したが、意欲や学力面において課題は残した。	B	・1年次生の系列選択において、将来を見据えた系列選択と科目選択になるよう指導を徹底する。 ・社会に通用する力を身につけさせるために、規律ある学校生活と基礎学力の定着を徹底させる。
	(自信と誇りの育成) ・挨拶やマナー、正しい言葉づかいと身だしなみが身に付き、地域からの信頼が厚い。 ・部活動が活発で、活動への意欲が高い。	・目標設定の不十分さから学校生活に対する十分な自信が持てず、言葉遣いやマナー、服装にも不十分さが表れ、地域からも指摘を受けることがある。 ・個々の部では高い活動成果をあげているが、全校生徒の部活動加入率があまり高くない。	・生徒が多くの可能性や自由度のある総合学科で自律的に、自己責任を発揮しながら学習することを実践し、高い満足と自信と誇りを保持している。 ・多くの生徒が部活動に加入し、学習と部活動の両立に努力している。	・教科指導や体験的活動を通して、様々な場面で生徒が達成感、成就感を得られるよう、指導内容や評価の改善を図る。 ・部活動が自分を成長させる大切な場であることを啓発し、加入を促進する。	・学力向上と授業改善の職員研修を実施。経験豊富な県外講師の指導により授業改善の工夫を進めた。 ・島袋勉さん特別講演会「夢をあきらめない」を実施。目標を失いがちな生徒に大きな感動があった。	C	・部活動への加入を促進し、部活動を活性化させるとともに、生徒個々の活動の意欲を高めさせる。 ・学校生活全般における規律を高め、生徒の意識と地域からの信頼も高める。
3. 地域との連携を推進する	(地域への情報発信) ・学校の特色や生徒の活動などが適宜発信され、保護者、地域の理解度が高い。 ・生徒の校外活動が積極的で、地域からの理解や信頼が厚い。	・PTA広報誌が内容、発行回数ともに充実したものが発行されている。 ・学校ホームページに適宜情報発信するよう努めている。 ・生徒の校外活動やボランティア活動への参加を促し、地域社会から生徒の活動の様子が分かるように努めている。	・生徒が様々なボランティア活動に積極的に参加し、地域から期待と信頼を得ている。 ・生徒の進路に繋がる校外活動や教科外活動に地域から様々な情報や協力が提供されている。 ・学校ホームページへの情報発信が細やかに、タイムリーに行われている。	・PTAとの連携を深め、学校ホームページや連絡文書を細やかに発信し、且つ確実に伝わるようにする。 ・生徒の校外における体験的な活動を積極的に進め、地域の教育力の支援も受けていく。	・学校行事や生徒指導に対するPTAの協力や支援が、今年度も積極的になされた。 ・地域からの様々なボランティア情報を積極的に伝え、生徒のボランティア参加も活発であった。	B	・生徒の様々な活動内容を、より一層地域社会へ発信し、学校理解を促進するとともに、生徒の活動の意欲や自信を高める。 ・PTA役員との連携をより深め、役員以外の保護者の学校活動への参加協力を進める。
	(地域人材の活用) ・社会人講師等による多様な講演や研修が行われている。 ・学校評議員や地域の有識者との意見交換が定期的に行われている。	・社会人講師や地域の有識者による講演、研修、意見交換の場を多く持ち、様々な提言を学校運営に生かしている。	・PTA総会、その他PTA諸活動への保護者の参加率が高く、学校と保護者との連携が深まっている。 ・学校生活に対し保護者や地域の方々の関心が高く、生徒にとって見守られ感がある。	・生徒の現状や学校課題に即した講演会や研修を、外部有識者と連携しながら充実させる。 ・学校評議員や地域人材との連携をさらに深める。	・性教育、人権教育、食育、健康など様々なテーマで地域から講師を招き、講演会を開催した。 ・学校評議員を始め様々な外部人材との意見交換の場を積極的に持った。	B	・学校評議員や地域有識者、様々な外部講師などを積極的に学校へ招き、学校と地域との一体感を高めるとともに、生徒自身の見守られ感も高める。